

KISHU ICHIKAWA NIIGATA KATSUTA OSAKA NAGAOKA

KINKON

2025 冬
vol.24
ZERO
CO₂ 2050™



北越コーポレーション

KINKONは、当社工場の地名の頭文字を組み合わせ、お客様を訪問する際のチャイム音「キンコン」をイメージした、当社の環境活動通信誌です。

「ミニマム・インパクト」な紙づくり

—森の恵みを活かし資源を繋ぐ—

私たちは森の恵みを活用した資源の循環を大切にしています。

今回は、自然環境に与える影響を最小限にする「ミニマム・インパクト」の理念に基づいた

当社の持続可能な紙づくりについて紹介します。

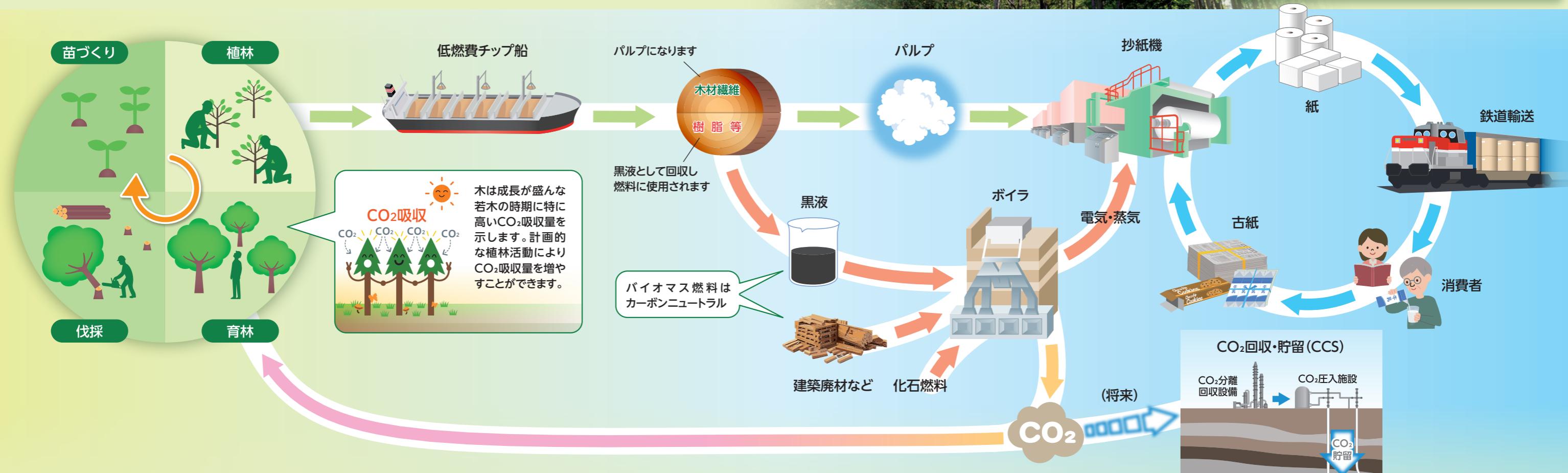
リサイクルに貢献する製品

- 段ボール古紙を使用した再生クラフト紙は、紙袋や緩衝材、化粧板などに使用されます。



- Halopack®は紙とフィルムを分離でき、紙のリサイクルが可能な食品用紙容器です。

(Halopack®は北越パッケージ(株)の商品です)



植林から始まる持続可能な紙づくり

当社は紙の主原料に、合法的な植林木由来チップを100%使用しており、その一部を担うため、当社自身が持続可能かつ環境に配慮した植林事業を展開しています。

南アフリカでは、気象条件や病原菌に強い適地適木となる樹種を選定し、更新・保育・伐採のサイクルを毎年実行しています。さらに、保護区設定や動植物モニタリングを通じて生物多様性の維持に努めています。また、地域住民を優先雇用することで地域経済の振興にも貢献しています。



【調達禁止5項目】

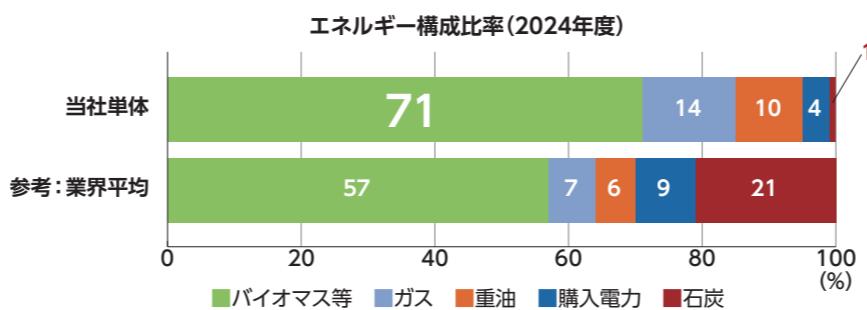
- 違法伐採木材
- 伝統的権利・人権を侵害し伐採された木材
- 高い保護価値が脅かされている森林の木材
- 人工林、森林以外の土地利用に転換されている森林の木材
- 遺伝子組み換え樹木が植えられた森林の木材

2023年植栽アカシア(手前)と2021年植栽ユーカリ

CO₂ゼロ・エネルギーを活用した紙づくり

パルプ製造過程で発生する樹脂成分などの「黒液」を燃料として無駄なく活用して、電力や蒸気を自製し、紙を製造しています。

加えて、建築廃材や紙にならない纖維粕などのバイオマス燃料や廃プラスチックなどの廃棄物燃料も最大限有効活用することで、2024年度のCO₂ゼロ・エネルギー*比率は71%に達しました。（*黒液などのバイオマス燃料や廃棄物燃料由來のエネルギー）



業界平均値は日本製紙連合会カーボンニュートラル行動計画フォローアップ調査結果（2024年度実績）より

ゼロCO₂ 2050を目指した紙づくり

当社は、2050年までにCO₂排出実質ゼロを目指しています。これまでバイオマス燃料の活用やCO₂排出量の少ない燃料への転換などを進め、CO₂排出量削減に取り組んできました。

今後さらなるCO₂削減に向け、省エネの推進や燃料転換を進めるとともに、回収ボイラから排出するバイオマス由來のCO₂を回収し貯留するCCS技術導入の検討などに取り組んでいきます。これらの取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



小型CO₂分離回収装置(CO₂MPACT™モバイル、三菱重工業(株))

「エコレールマーク優秀事業者賞」受賞

当社は、鉄道貨物協会主催の「第1回エコレールマーク表彰」で「エコレールマーク優秀事業者賞」を受賞しました。エコレールマーク制度は、地球環境に優しい貨物鉄道輸送を一定割合以上利用する企業、商品に対して認定を行う制度です。今回の受賞は、長年のモーダルシフト推進に加え、105基のコンテナへのエコレールマーク表示、同業他社とのラウンド輸送、異業種とのマッチング輸送などが評価されました。今後も環境に配慮した物流と持続可能な社会の実現のため、鉄道輸送の活用をさらに進めます。



日本CDR協議会に参画

日本CDR協議会は、CO₂排出の削減が困難な分野からの排出をオフセットする手段として不可欠な、二酸化炭素除去(CDR:Carbon Dioxide Removal)の取り組みを加速させることを目的とした任意団体です。企業が掲げる野心的な脱炭素目標の達成に貢献するため、CDRの社会実装と市場形成を推進しています。当社は本協議会に参画し、日本のカーボンニュートラルの実現に向けて取り組みを加速していきます。

紙の可能性を切り拓く! VF&PASCO

北越東洋ファイバー(株)のバルカナイズドファイバー(VF)が、バイオマス素材を活用したEVコンセプトカー「しづおか もくまる」の荷台や床材に採用されました。セルロースをナノレベルまで解纖・結合させた強靭な素材であるVFを積層させ、さらに強度を高めた積層品が、高負荷耐性が求められる荷台や床材にマッチしました。「しづおか もくまる」は10月16～17日に開催された「ふじのくにセルロース循環経済国際展示会」にて展示されました。

この展示会には、北越東洋ファイバーと北越コーポレーション共同で出展し、VFを中心に、リサイクルを意識した開発品や環境対応型の素材を展示しました。また、紙素材でありながら紙を超える強度を誇る特殊硬質繊維ボードPASCOを用いたレスキューボードも展示し、持続可能な未来を支える革新的素材として、多くの来場者の注目を集めました。



「しづおか もくまる」の荷台に採用されたVF



軽量かつ丈夫なPASCO製レスキューボード

編集後記

紙は、計画的な森林管理と資源の循環によって支えられた、持続可能な素材です。本誌では、『森林』『紙』『エネルギー』の循環構造と、その仕組みを活かした当社の取り組みをご紹介しました。各工程において、資源が有効かつ継続的に活用されていることをご理解いただけたと思います。北越グループは、これからも紙づくりを通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

この通信誌の用紙にはミューマット-F 157g/m²を使用しております。

KINKON vol.24

2025年12月発行

ZERO
CO₂
2050™

[発行]

北越コーポレーション株式会社

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-2

TEL(代):03-3245-4500

<https://www.hoketsucorp.com>

